

## 船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第240号	
事故等種類	運航不能（推進器損傷）	
発生日時	平成21年9月26日（土） 14時45分ごろ	
発生場所	東京都小笠原村父島 二見港丸山灯台から真方位340° 3.69海里付近 （概位 北緯27°08.0′ 東経142°11.0′）	
事故等調査の経過	平成21年9月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 遊覧船 <small>リトル ジョージ</small> Little George、5トン未満 船舶番号、船舶所有者等 242-20589東京、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船外機ドライブシャフト軸受焼付き	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、旅客7人を乗せ、小笠原村兄島と弟島の中間の水域を航行中、平成21年9月26日14時45分ごろ、船外機が停止した。 本船は、連絡を受けて来援した小笠原海上保安署監視取締艇にえい航されて二見港に帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、うねり なし	
その他の事項	ギヤケース潤滑油は、混入した海水により乳化していた。 ドライブシャフトオイルシールが不良となり、海水が船外機内部に浸入した可能性があると考えられる。 本船は、損傷した船外機のギヤケースドライブシャフト軸受（以下「ギヤケース軸受」という。）をアSEMBリで新替えた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、ドライブシャフトのオイルシールが不良となり、浸入した海水によりギヤケース潤滑油が汚損され、その潤滑油性状が劣化した状態で船外機の運転が続けられ、ギヤケース軸受が焼き付いたものと考えられる。
原因	本インシデントは、ドライブシャフトのオイルシールが不良となり、海水が船外機内部に浸入してギヤケース潤滑油が汚損され、その潤滑油性状が劣化した状態で船外機の運転が続けられたため、本船が東京都小笠原村兄島と弟島の中間の水域を航行中、ギヤケース軸受が焼き付いたことにより発生したものと考えられる。	